

2005 年度苗名小屋第 3 次雪下ろし報告

2005 年度苗名小屋第 3 次雪下ろしは、2006 年 1 月 21 日(土)～22 日(日)に実施されました。
以下の文章は 46 期塩野氏の報告を編集したものです。 46 期 塩野

参加者(敬称略): 8 期佐木、40 期覚田、46 期塩野、47 期井上、48 期安田、島田、村田、
49 期小林、岸本



1/19, 20 時、僕と 47 期主将井上さんの二人で宮前スポーツ直通のゲレンデ直行バスに横浜駅から乗車。横浜から五八木までピンポイントで出ているバスがあるとは驚きでした。しかも片道 3800 円、往復 7400 円で予約も支払いも簡単に済みました。

実に便利なのでもう「ムーンライト信州」回りでは行く気がしません。183 系国鉄色に乗りたくなったら別ですが。

バス内は 9 割以上国大生で、満員でした。さすがセンター試験休み！ちなみにスキーの板を持ち込んだのは僕一人。若者はスノーボードなのですね。

深夜の上信越道を快調に進み、1 時 50 分に信州中野。さすがに早すぎて、1 時間以上停車していました。20 時出発をもっと遅くすればさらに便利なのですが。後に戸狩温泉、赤倉と経由し五八木に 7 時着。やはり杉野沢集落では例年より 1m くらい雪が多いようでした。五八木は高校生の貸切で皆様忙しそうでした。

1/20 のこの日は JAF の割引券を使い一日券を 2000 円で購入しました。前割より安い！

快晴で気温が低くて雪質がよく、人も少なく、これ以上ない好条件でした。

白馬やら富士山やら、越駒やら感涙すべき展望で、午後は第三高速より上は雲海の上をスキーで滑るという初体験をいたしました。あの爽快感、さすが 1850m まで通じているリフトです。

あの景色を見るだけで 2,000 円払った価値有ります。

昼は「サンアントン」で生姜焼きライス 1,350 円とカツ丼 1,050 円を二人で。

結局ゴンドラ 5 回、高速リフトを 12 回乗り充実したスキーでした。またスキーに行きたくなりました。小屋へはトレースはありませんでしたが第二高速から 20 分ほどで小屋入りと、雪面は固まり、歩きやすかったです。

小屋入り時、屋根には 30cm、柱はほとんど見えておりましたが、軒まで雪が達しておりました。

小屋までは順調でしたが鍵の在り処がわからず、30分近く探したあげく、入り口扉前で発見。帰りもその場所に掛けてきました。

さて夜は放射冷却で冷え、朝の小屋内は氷点下8度、しかし凍りついた星空がきれいなこと、小屋に来た喜びを実感いたしました。

翌1/21は雪下ろしは楽勝そうなので、スノシューハイキングで仙人池まで行きました。この日も快晴。トレースなき綺麗な雪面を歩く楽しさ。歌を歌いながらのんびり歩けました。ちなみに往復2時間45分。行きはたっぷり1時間50分かかりました。

小屋に帰ってきて13時より雪かき。とりあえず小屋内を明るくするため東側から。軒下1m以上掘り下げました。しかし4時半を過ぎても後発の7人が来ず、心配していたところ5時前に小屋着。小屋の行き方がわからず、第二高速に二度乗って探したとのこと。お疲れ様でした。5時からみんなで少しだけ雪掘り。日が長くなりました。夜は豚汁。安田君は料理がうまく、美味でした。しかしつまみが無く、ミカンで我慢しました。21時就寝。コタツ5人、上4人でした。

翌朝6時半起床。朝食はお茶漬。僕は変な寝方をしたためか偏頭痛。一時間ほど寝ておりました。すみません。

雪掘りはいたって順調。

4面全て1m以上掘り下げました。

11時より造林小屋を女の子二人と僕とで雪下ろし。おととの日本横断メンバーです。

屋根の雪は1.5mほど。硬く重い雪で結構苦戦。男の子は誰も登りませんでした。

造林小屋も1時間ほどで完了。

屋根には10cmもないほどで当分大丈夫かと思えます。

屋根から降りるときは迷わずダイブ、二人もそれに従いました。

おなかが減ったのに小屋には何も無くおなかを抱えて13時に小屋発。

快晴です。そういえば小屋前に梯子が放置されていたのでそのまま放置してきました。

下りで岸本君がやや苦戦。3年前の自分のようでした。

14時五八木発。ぼくは8期の佐木さん車に同乗させてもらいました。

高速もいたって順調。なんと18時15分に荻窪駅着。

「やおとく」に寄れなかったこと意外は何もかも順調で楽しい小屋滞在でした。

長くなりましたが以上です。